

単元	1. This is me!			4・5月(9時間)
目標	お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などについて、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、好きなものや宝物などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。			
評価規準	(①知・技) <知> I like .... やMy treasure is .... およびその関連語句について理解している。 <技>好きなものや宝物とその理由などについて、I like .... やMy treasure is .... およびその関連語句を用いて、情報や考え、気持ちなどを話す技能を身につけている。 (②思・判・表)自分のことを伝えるために、好きなものや宝物とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話している。 (③主体的態度)自分のことを伝えるために、好きなものや宝物とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話そうとしている。			
言語事項	【好きなもの】What ... do you like? / I like .... 【宝物】What is your treasure? / My treasure is .... / It's from .... 【その他】I'm from .... / I'm good at .... / Any questions?			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○JTEやALTの好きなものや宝物を伝え合うやり取りを聞いて、その概要を捉え、単元の課題「お互いのことをよく知ることができるように、好きなものや宝物などを伝えたり聞いたりできるようになるう」をつかむ。	○JTEやALTの好きなものや宝物を聞いて理解できるように、ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。	◇JTEやALTの好きなものや宝物について発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
追究する	1	○好きなものや宝物などについてのやり取りの表現に慣れ親しみ、友達と紹介し合ったり書いたりする。	○自分の好きなものや宝物の英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、事前にアンケートで調査した好きなものや宝物の英語表現集を学習支援アプリ内に用意する。	◇好きなものや宝物を英語表現を用いて紹介している。 <行動①>
	1	○好きなものや宝物の理由を伝える英語表現について知り、好きなものや宝物とその理由について、友達と紹介し合ったり書いたりする。	○好きなものや宝物の理由を伝える英語表現を見付け、慣れ親しむことできるように、英語表現が分からない内容や発音しにくい英語表現など、困り感を共有し、解決する時間を設定する。	◇好きなものや宝物の理由を英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
	1	○好きなものや宝物などについて伝える際に用いる英語表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。	○自分の伝えたい好きなものや宝物、その理由を整理できるように、好きなものや宝物とその理由、伝える順番を記入し、並び替えたり、線で繋げたりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。	◇自分のことを相手に伝えるために、好きなものや宝物とその理由について、英語表現を用いながら構想している。 <行動②>
	2	○自分の好きなものや宝物、その理由について紹介する英語表現を書き写し、紹介する際に提示するポスターを作成する。	○自分の好きなものや宝物、その理由を書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。	◇好きなものや宝物、その理由を書き写している。 <行動・ワークシート①>
	1	○自分の好きなものや宝物、その理由についてグループで紹介し合い、発表の仕方や英語表現を改善する。	○自らの表現の改善点に気付けるように、グループ内でコミュニケーションポイントを観点とし、相互評価し合う機会を設定する。	◇相手に伝わるように、自分の好きなものや宝物について伝えている。 <行動②>
まとめる	1	○お互いのことをよく知るために、好きなものや宝物などを紹介し合う。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように、目的や場面、状況を確認したり、紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。	◇相手に自分のことを知ってもらうために、自分の好きなものや宝物、その理由を伝えようとしている。 <行動③>
	1	○映像や音声を見聞きし、世界の子供たちの大切なものなどについて考え、世界の文化について知る。	○映像や音声を見聞きして分かったことや気付いたことなど、話の概要を捉えられるように、リスニングのポイント示したワークシートを用意する。	◇世界の子供たちの大切なものについて知り、自分と世界の子供たちの文化的な違いについて記述したり、話したりしている。 <発表・ワークシート③>

単元	2.My Daily Schedule		5・6月（8時間）
目標	お互いの生活をよく知るために、日常生活について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、週末の過ごし方について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		
評価規準	(①知・技)<知>【I always .... や I usually ...., I sometimes .... およびその関連語句】について理解している。 <技>I always .... や I usually ...., I sometimes .... およびその関連語句を用いて、日常生活や週末の過ごし方について話す技能を身に付けている。 (②思・判・表)自分のことを伝えるために、日常生活や週末の過ごし方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報を話している。 (③主体的態度)自分のことを伝えるために、日常生活や週末の過ごし方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報を話そうとしている。		
言語事項	【日常生活（過ごし方）】What time do you (usually) ...? / I (usually) (動作) at (時刻). 【日常生活（頻度）】I usually [always/sometimes/never] .... 【その他】Oh, you have .... / Lucky you! / This is my weekend schedule.		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○ALTとJTEによる日常生活や週末の過ごし方についてのやり取りを見聞きし、その概要を捉え、単元の課題「お互いの生活をよく知るために、お互いの日常生活について、聞いたり紹介したりできるようになるう」をつかむ。	○JTEやALTの日常生活や週末の過ごし方を聞いて理解できるように、ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。
追究する	1	○日常生活についてやり取りする際に用いる英語表現に慣れ親しみ、自分が日常生活でやることや楽しむことについて紹介したり、書いたりする。	○日常生活や週末に過ごし方に関連する英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、事前のアンケートで挙げられた英語表現を英語表現集としてまとめ、学習支援アプリ内に用意する。
	1	○週末の過ごし方についてやり取りする際に用いる英語表現に慣れ親しみ、週末の過ごし方について紹介したり、書いたりする。	○日常生活や週末に過ごし方を伝える英語表現を見付け、慣れ親しむことができるように、英語表現が分からない内容や発音しにくい英語表現など、学級全体で困り感を共有し、解決する時間を設定する。
	1	○日常生活や週末の過ごし方を伝える英語表現を振り返ったり、友達に伝えたい情報を整理したりして、発表の内容を考える。	○自分の伝えたい日常生活や週末に過ごし方を整理できるように、日常生活や週末に過ごし方、伝える順番を記入し、並び替えたり、線で繋がったりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。
	1	○日常生活や週末の過ごし方を紹介する英語表現を書き写したり、画像や絵を作成したりして、My Daily Schedule帳を作成する。	○自分の日常生活や週末の過ごし方を書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。
	1	○日常生活や週末の過ごし方についてグループで紹介し合い、発表の仕方や英語表現を改善する。	○自らの表現の改善点に気付けるように、グループ内でコミュニケーションポイントを観点とし、相互評価し合う機会を設定する。
まとめる	1	○お互いのことをよく知るために、日常生活や週末の過ごし方を紹介し合う。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように、目的や場面、状況を確認したり、紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。
	1	○映像や音声を見聞きし、世界の学校や子供たちの生活などについて考え、世界の文化について知る。	○映像や音声を見聞きして分かったことや気付いたことなど、話の概要を捉えられるように、リスニングのポイント示したワークシートを用意する
			評価項目<評価方法（観点）>※太字は「記録に残す評価」
			◇JTEやALTの日常生活や週末の過ごし方についてに発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
			◇自分の日常生活について英語表現を用いて紹介している。 <行動①>
			◇週末の過ごし方について英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
			◇自分のこと相手に伝えるために、日常生活や週末の過ごし方について、英語表現を用いながら伝える内容を構想している。 <行動②>
			◇自分の日常生活や週末の過ごし方を書き写している。 <行動・ワークシート①>
			◇相手に伝わるように、自分の日常生活や週末の過ごし方について伝えている。 <行動②>
			◇相手に自分のことを知ってもらうために、自分の好きなものや宝物、その理由を伝えようとしている。 <行動③>
			◇世界の子どもたちの生活について知り、自分と世界の子どもたちの文化的な違いについて記述したり、話したりしている。 <発表・ワークシート③>

単元	3. My Weekend		6・7月(10時間)
目標	お互いの生活をよく知るために、週末にしたことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、週末にしたことについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		
評価規準	(①知・技) <知> I went to .... や I enjoyed ...., I ate ...., It was .... およびその関連語句について理解している。 <技> 週末にしたことについて、I went to .... や I enjoyed ...., I ate ...., It was .... 等を用いて、情報や気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (②思・判・表) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や気持ちなどを伝え合っている。 (③主体的態度) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、週末にしたことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や気持ちなどを伝え合おうとしている。		
言語事項	【週末の感想】 How was your weekend? / It was (感想). 【したこと】 I went to .... / I enjoyed .... / I ate .... / I played .... 【その他】 Sounds good! / How was the weather? / It was (天気). / Are you good at ...? / Cool!		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○ALTによる「週末にしたこと」の発表を見聞きし、その概要を捉え、単元の課題「お互いの生活をよく知るために、週末にしたことについて、聞いたり伝えたりできるようにしよう」をつかむ。	○JTEやALTの「週末にしたこと」を聞いて理解できるように、ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。
追究する	1	○週末にしたことについて伝える際に用いる英語表現に慣れ親しみ、週末にしたことを友達と伝え合ったり、書いたりする。	○週末にしたことに関連する英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、事前のアンケートで挙げられた英語表現を英語表現集としてまとめ、学習支援アプリ内に用意する。
	1	○週末にしたこととその感想を伝える際に用いる英語表現に慣れ親しみ、週末にしたこととその感想を友達と伝え合ったり、書いたりする。	○週末にしたこととその感想を伝える英語表現を見付け、慣れ親しむことができるように、英語表現が分からない内容や発音しにくい英語表現など、学級全体で困り感を共有し、解決する時間を設定する。
	1	○週末にしたことやその感想について、英語表現を振り返ったり、伝えたい情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考える。	○伝えたい週末にしたこととその感想を整理できるように、日常生活や週末に過ごし方、伝える順番を記入し、並び替えたり、線で繋げたりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。
	1	○週末にしたことやその感想を紹介する英語表現を書き写したり、画像や絵を用いたりして、My Weekend Picture Dairyを作成する。	○週末にしたこととその感想を書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。
	1	○週末にしたことやその感想をグループで紹介し合い、発表の仕方や英語表現を改善する。	○自らの表現の改善点に気付けるように、グループ内でコミュニケーションポイントを観点とし、相互評価し合う機会を設定する。
まとめる	1	○お互いの生活をよく知るために、週末にしたことを伝え合う。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように、目的や場面、状況を確認したり、紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。
	1	○映像や音声を見聞きして、世界の人が休みの日にしていることなどについて考え、世界の文化について知ったり、物語を読んだりする。	○映像や音声を見聞きして分かったことや気付いたことなど、話の概要を捉えられるように、リスニングのポイント示したワークシートを用意する
	1	○1学期まとめテスト(リスニング)を行う。	
	1	○1学期スピーキングテストを行う。	
			評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
			◇JTEやALTの「週末にしたこと」について発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
			◇自分の週末にしたことについて英語表現を用いて紹介している。 <行動①>
			◇週末にしたこととその感想について英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
			◇週末にしたこととその感想について、英語表現を用いながら伝える内容を構想している。 <行動②>
			◇週末にしたこととその感想を書き写している。 <行動・ワークシート①>
			◇相手に伝わるように、週末にしたこととその感想について伝えている。 <行動②>
			◇相手に自分のことを知ってもらうために、週末にしたこととその感想を伝えようとしている。 <行動③>
			◇世界の子どもたちの休日の過ごし方について知り、自分と世界の子どもたちの文化的な違いについて記述したり、話したりしている。 <発表・ワークシート③>

単元	4. Let's see the world.		8, 9月(9時間)
目標	行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、行きたい国とそこでできることについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。		
評価規準	(①知・技) <知> Let's go to ... や You can see [eat, buy] ..., It's ..., Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句について理解している。 <技> 行きたい国とそこでできることについて、Let's go to ... や You can see [eat, buy] ..., It's ..., Where do you want to go? とその答え方、およびその関連語句を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (②思・判・表) 世界の国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合っている。 (③主体的態度) 世界の国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合おうとしている。		
言語事項	【行きたい国】 Let's go to ... / Where do you want to go? / I want to go to ... 【できること】 You can see ... / You can eat ... / You can visit ... / It's ... 【その他】 Anything else?		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○ALTとJTEによる行きたい国とそこでできることについてのやり取りを見聞きし、その概要を捉え、単元の課題「行きたい国の魅力を伝えるために、行きたい国とそこでできることについて、聞いたり伝えたりできるようになる」をつかむ。	○JTEやALTの日常生活や週末の過ごし方を聞いて理解できるように、ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。
追究する	1	○行きたい国についてやり取りする際の英語表現に慣れ親しみ、友達と行きたい国とについて紹介し合う。	○行きたい国に関連する英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、事前のアンケートで挙げられた英語表現を英語表現集としてまとめ、学習支援アプリ内に用意する。
	1	○行きたい国とそこでできることについてやり取りする際に用いる英語表現に慣れ親しみ、友達と行きたい国とそこでできることについて紹介し合う。	○行きたい国とそこでできることを伝える英語表現を見付け、慣れ親しむことできるように、英語表現が分からない内容や発音しにくい英語表現など、学級全体で困り感を共有し、解決する時間を設定する。
	1	○自分の行きたい国とそこでできることについて調べて、行きたいリストを作成する。	○インターネットを活用して、自分が行きたい国とそこでできることを調べる時間を設定する。
	1	○行きたい国とそこでできることについて伝える際に用いる英語表現を振り返ったり、伝えたい情報を整理したりして、やり取りで紹介する内容を考える。	○行きたい国とそこでできることを整理できるように、行きたい国とそこでできること、伝える順番を記入し、並び替えたり、線で繋がったりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。
	2	○自分の行きたい国とそこでできることについて紹介する英語表現を書き写したり、画像や絵を用いたりして、My Trip Planを作成する。	○自分の行きたい国とそこでできることを書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。
	1	○自分の行きたい国とそこでできることについて、グループで紹介し合い、発表の仕方や英語表現を改善する。	○自らの表現の改善点に気付けるように、グループ内でコミュニケーションポイントを観点とし、相互評価し合う機会を設定する。
まとめる	1	○自分の行きたい国とそこでできることについて友達と紹介し合う。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように、目的や場面、状況を確認したり、紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。
			評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
			◇JTEやALTの日常生活や週末の過ごし方について発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
			◇自分が行きたい国について英語表現を用いて紹介している。 <行動①>
			◇行きたい国とそこでできることについて英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
			◇自分の行きたい国とそこでできることについて調べて、行きたいリストを作成している。 <行動③>
			◇自分のこと相手に伝えるために、自分の行きたい国とそこでできることについて、英語表現を用いながら伝える内容を構想している。 <行動②>
			◇自分の行きたい国とそこでできることを書き写している。 <行動・ワークシート①>
			◇相手に伝わるように、自分の行きたい国とそこでできることについて伝えている。 <行動②>
			◇相手に自分のことを知ってもらうために、自分の好きなものや宝物、その理由を伝えようとしている。 <行動③>

単元	5. Where is it from?			10月(9時間)
目標	自分たちと世界とのつながりを知るために、身の回りのものの生産国について、聞き取ったり紹介したりすることができる。また、身の回りのものやその生産国について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。			
評価規準	(①知・技) <知> This is ..., It's from ..., 国名 is in 地域., Where is it from? とその答え方, およびその関連語句] について理解している。 <技> 身の回りのものとその生産国について, This is ..., It's from ..., 国名 is in 地域., Where is it from? とその答え方, およびその関連語句を用いて, 情報や考え, 気持ちなどを話す技能を身に付けている。 (②思・判・表) 自分たちと世界とのつながりを伝えるために, 身の回りのものとその生産国について, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 情報や考え, 気持ちなどを発表している。 (③主体的態度) 自分たちと世界とのつながりを伝えるために, 身の回りのものとその生産国について, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 情報や考え, 気持ちなどを発表しようとしている。			
言語事項	【ものの紹介】 This is my ... 【どこから来たか】 Where is it from? / It's from ... / My ... is from (国). / (国) is in (地域). 【オリジナルサンドイッチ】 Tell me about your sandwich. / My sandwich is a ... sandwich. / (アルファベット) is for (食材). 【その他】 ... is a nice country. / We are the ... team. / Can you guess?			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○ALTとJTEによる身の回りの物とその生産国についてのやり取りを見聞きし, その概要を捉え, 単元の課題「身の回りのものの生産国について伝え合い, 自分たちと世界のつながりを見付けよう」をつかむ。	○JTEやALTによる身の回りの物とその生産国についてのやり取りを聞いて理解できるように, ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。	◇JTEやALTの日常生活や週末の過ごし方について発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
	1	○身の回りのものの生産国についてのやり取りする際の英語表現に慣れ親しみ, 教室にある物や自分の持っている物の生産国について紹介し合う。	○身の回りのものの生産国に関連する英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように, 事前のアンケートで挙げられた英語表現を英語表現集としてまとめ, 学習支援アプリ内に用意する。	◇身の回りのものの生産国について, 英語表現を用いて紹介している。 <行動①>
追究する	1	○オリジナルサンドイッチを考え, サンドイッチに挟む食材と産地を伝え合ったり書いたりする。	○オリジナルサンドイッチに挟む食材と産地を英語表現を用いて伝えられるように, 食材とその産地の一覧を提示する。	◇オリジナルサンドイッチに挟む食材とその産地について, 英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
	1	○身の回りのものの生産国やその地域を調べて, 例文を参考に書く。	○身の回りのものの生産国やその地域を英語表現を用いて書くことができるように, 例文と4線が書かれたワークシートを用意する。	◇身の回りのものの生産国について英語表現を用いて書き写している。 <行動・ワークシート①>
	1	○身の回りのものの生産国について紹介する際に用いる英語表現を振り返ったり, 伝えたい情報を整理したりして発表の内容を考える。	○紹介したい身の回りのものの生産国をその情報を整理できるように, 伝える情報や順番を記入し, 並び替えたり, 線で繋げたりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。	◇身の回りのものの生産国について紹介するために, 英語表現を用いながら伝える内容を構想している。 <行動②>
	2	○自分たちと世界とのつながりについて知るために, 身の回りのものの生産国などをグループで発表し, 発表の仕方や英語表現を改善する。	○自らの表現の改善点に気付けるように, グループ内でコミュニケーションポイントを観点とし, 相互評価し合う機会を設定する。	◇相手に伝えるように, 身の回りのものの生産国について伝えている。 <行動②>
まとめる	1	○自分たちと世界とのつながりについて知るために, 身の回りのものの生産国などを発表する。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように, 目的や場面, 状況を確認したり, 紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。	◇身の回りのものの生産国について伝え, 世界と日本のつながりを見付けようとしている。 <行動③>
	1	○映像や音声を手がかりにして, 日本と世界との交流の歴史などについて考え, 日本と世界のつながりについて知る。	○映像や音声を聞き取って分かったことや気付いたことなど, 話の概要を捉えられるように, リスニングのポイント示したワークシートを用意する	◇日本と世界との交流の歴史について知り, 分かったことや考えたことを記述したり, 話したりしている。 <発表・ワークシート③>

単元	6. Save the animals.			10・11月(9時間)
目標	生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、それらについて、例文を読んだり、例文を参考に書いたりすることができる。			
評価規準	(①知・技) <知> 【Let's save ..., Where do 生き物名 live? とその答え方, ... is a big problem., We can ..., およびその関連語句】について理解している。 <技> 生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、Let's save ..., Where do 生き物名 live? とその答え方, ... is a big problem., We can ..., およびその関連語句を用いて、情報や考え、気持ちなどを話す技能を身に付けている。 (②思・判・表) 生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話している。 (③主体的態度) 生き物への理解を深めるために、生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話そうとしている。			
言語事項	【生き物】 Let's save the ... / Where do ... live? / ... live in ... 【抱える問題・できること】 ... is a big problem. / We can ... 【その他】 I have an idea. / Nice idea			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○ALTとJTEによる世界が抱える環境問題などについてのやり取りを見聞きし、その概要を捉え、単元の課題「生き物を守るためにできることを考えて伝え合おう」をつかむ	○JTEやALTによる世界が抱える環境問題についてのやり取りを理解できるように、ジェスチャーや写真を用いながらモデルを提示する。	◇JTEやALTによる環境問題についてのやり取りについて聞きとれたことや分かったことを発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート①>
	1	○生き物たちが暮らす場所についての英語表現に慣れ親しみ、友達と生き物が暮らす場所について尋ね合う。	○生き物たちが暮らす場所に関連する英語表現を繰り返し聞いたり発音したりできるように、生き物の名前や暮らす場所の英語表現集を学習支援アプリ内に用意する。	◇ <b>生き物たちが暮らす場所について、尋ねたり答えたりできる。</b> <行動①>
追究する	1	○世界が抱える環境問題などについてやり取りする際の英語表現に慣れ親しみ、世界が抱える環境問題について友達と伝え合う。	○日常生活や週末に過ごし方を伝える英語表現を見付け、慣れ親しむことできるように、英語表現が分からない内容や発音しにくい英語表現など、学級全体で困り感を共有し、解決する時間を設定する。	◇世界が抱える環境問題について、英語表現を用いて伝えている。 <行動①>
	1	○生き物が暮らす場所や抱えている問題についての資料を読んだり、調べたりして、生き物が暮らす場所や抱えている問題を友達と伝え合う。	○生き物の暮らす場所とその場所が抱えている環境問題に気付くことができるように、生き物・暮らす場所・環境問題が示された資料を用意する。	◇生き物が暮らす場所と抱えている環境問題を伝え合っている。 <行動①>
	1	○救いたい生き物や身近でできることについて伝える際に用いる英語表現を振り返ったり、伝えたい情報を整理したりして、発表の内容を考える。	○自分の伝えたい日常生活や週末に過ごし方を整理できるように、日常生活や週末に過ごし方、伝える順番を記入し、並び替えたり、線で繋がったりできる発表構想シートを学習支援アプリ内に用意する。	◇救いたい生き物や身近でできることについて紹介するために、英語表現を用いながら伝える内容を構想している。 <行動②>
まとめる	1	○救いたい生き物や身近でできることを紹介する英語表現を書き写したり、画像や絵を用いたりして、My Action Planを作成する。	○自分の日常生活や週末の過ごし方を書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。	◇救いたい生き物や身近でできることを書き写している。 <行動・ワークシート①>
	1	○生き物への理解を深めるために、生き物のことや身近でできることを発表し合う。	○相手に応じて伝え方や伝える内容を変えることができるように、目的や場面、状況を確認したり、紹介し合う中で見付かった困り感を共有・解決したりする機会を設定する。	◇相手に伝わるように、救いたい生き物や身近でできることを伝えようとしている。 <行動③>
	1	○2学期リスニングテスト		
	1	○2学期スピーキングテストを行う。		

単元	7. My Best Memory			1・2月(7時間)
目標	お互いのことをよく知るために、小学校生活の一番の思い出について聞き取ったり紹介したりすることができる。また、小学校生活の一番の思い出について、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。			
評価規準	(①知・技)思い出の学校行事とその理由を尋ねたり答えたりする英語表現を理解している。 学校行事を表す英語表現を英語の音声で発音したり、英語の語順で書き写したりしている。 (②思・判・表)思い出の学校行事とその理由を伝えたり書き写したりしている。 (③主体的態度)友達やALTに伝わるように工夫しながら、思い出の学校行事とその理由を尋ねたり答えたりしようとしている。			
言語事項	【思い出】What's your best memory? / My best memory is .... 【したことや感想】What did you do? / We went to .... / We ate [saw] .... / It was .... 【その他】How was ...? / Nice talking to you.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○ALTとJTEによる小学校の思い出についてのやり取りを見聞きし、その概要を捉え、単元の課題「小学校の一番の思い出について伝え合おう」をつかむ。	○小学校の思い出について伝え合う際に必要な英語表現に気付けるように、モデルを伝える際に用いる写真やイラストを用意する。	◇小学校の思い出について伝え合う際に必要な英語表現を発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>
追究する	1	○学校行事を表す英語表現を用いた「クレイジーマンキーゲーム」をし、「My best memory is~.」を用いて、小学校の思い出を伝え合う。	○学校行事を表す英語表現を繰り返し発音し、英語の音声で発音できるように、ゲームで使用するシートとさいころを用意する。	◇学校行事を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○不規則変化の過去形の英語表現を用いた「キーワードゲーム」をし、小学校の思い出とその理由について伝え合う。	○不規則変化の過去形の英語表現を繰り返し発音し、英語の音声で発音できるように、相手を代えて繰り返しゲームをする時間を確保する。	◇不規則変化の過去形の英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○規則変化の過去形の英語表現を用いた「メモリーチェーンゲーム」をし、小学校の思い出とその理由について伝え合う。	○規則変化の過去形の英語表現を繰り返し発音し、英語の音声で発音できるように、ゲームで使用するカードを用意する。	◇規則変化の過去形の英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	1	○"It was~."等の感想を表す英語表現を加えて、小学校の思い出とその理由についてグループ内で伝え合う。	○英語表現の選択・組合せをし、小学校の思い出とその理由を伝えられるように、既習の英語表現を提示する。	◇英語表現の選択・組合せをし、小学校の思い出とその理由を伝えている。 <行動②>
まとめる	1	○小学校の思い出とその理由について伝え合う。	○友達に分かりやすく伝えるために必要な伝え方の改善点をもてるように、Check Listを基に自らの表現を確認する機会を設定する。	◇伝え方を改善し、小学校の思い出とその理由を分かりやすく伝えている。 <行動③>
	1	○小学校の思い出とその理由を書き写す。	○小学校の思い出とその理由を伝える英語表現の選択・組合せをし、書き写せるように、既習の英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意する。	◇英語表現の選択・組合せをし、小学校の思い出とその理由を書き写している。 <学習プリント②>
【備考】 ・「クレイジーマンキーゲーム」：「2. 環境を守るためにできることを発表しよう」【備考】欄参照。 ・「キーワードゲーム」：「1. 友達についての"True Or False"クイズ大会をしよう」【備考】欄参照。 ・「メモリーチェーンゲーム」：「6. 自分の生活や宝物を伝えよう」【備考】欄参照。				

単元	8. My Future, My Dream			2・3月(9時間)
目標	お互いの夢を応援するために、将来したいことについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。また、中学校で入りたい部活動や将来の夢などについて、例文を読んだり、それを参考に書いたりすることができる。			
評価規準	(①知・技)中学校でしたいことや部活、楽しい学校行事とその理由を尋ねたり答えたりする英語表現を理解している。 部活や学校行事を表す英語表現を英語の音声で発音したり、英語の語順で書き写したりしている。 (②思・判・表)中学校でしたいことや部活、楽しい行事とその理由を伝えたり書き写したりしている。 (③主体的態度)友達やALTに伝わるように工夫しながら、中学校でしたいことや部活、楽しい行事とその理由をプレゼンテーションしようとしている。			
言語事項	【入りたい部活動】What club do you want to join? / I want to join .... 【将来の夢】What do you want to be? / I want to be a .... / I want to work [live/help] .... 【その他】I like .... / I'm good at .... / Good luck!			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○中学校でしたいこととその理由について伝え合う試しの活動をして、伝えられたことや伝えられなかったことについて話し合い、単元の課題「中学校でしたいこととその理由についてプレゼンテーションできるようにしよう」をつかむ。	○中学校でしたいこととその理由についてプレゼンテーションする際に必要な英語表現に気付けるように、モデルを伝える際に用いる写真やイラストを用意する。	◇中学校でしたいこととその理由についてプレゼンテーションする際に必要な英語表現を発言したり記述したりしている。  <発言・Tryシート①>
追究する	1	○部活や学校行事を表す英語表現を用いた「キーワードゲーム」をし、「I want to～」を用いて、中学校でしたいことを伝え合う。	○部活や学校行事を表す英語表現を繰り返し発音し、英語の音声で発音できるように、相手を替えて繰り返しゲームをする時間を確保する。	◇部活や学校行事を表す英語表現を英語の音声で発音している。  <行動①>
	1	○理由を伝える英語表現を用いた「メモリーチェーンゲーム」をし、「I want to～」を用いて、中学校でしたいこととその理由を伝え合う。	○理由を伝える英語表現を繰り返し発音し、英語の音声で発音できるように、相手を替えて繰り返しゲームをする時間を確保する。	◇理由を伝える英語表現を英語の音声で発音している。  <行動①>
	1	○複数の中学校でしたいこととその理由を伝え合う。	○英語表現を選んだり組み合わせたりして中学校でしたいこととその理由を伝え合うことができるように、既習の英語表現を提示する。	◇英語表現の選択・組合せをし、複数の中学校でしたいこととその理由をプレゼンテーションしている。  <行動②>
	1	○複数の中学校でしたいこととその理由についてグループ内でプレゼンテーションする。	○詳細に伝えるために必要な英語表現に気付けるように、Question Listを用意する。	◇英語表現を改善し、複数の中学校でしたいこととその理由を詳細にプレゼンテーションしている。  <行動②>
まとめる	1	○複数の中学校でしたいこととその理由についてプレゼンテーションする。	○友達に分かりやすく伝えるために必要な伝え方の改善点をもてるように、Check Listを基に自らの表現を確認する機会を設定する。	◇伝え方を改善し、複数の中学校でしたいこととその理由を分かりやすく伝えている。  <行動③>
	1	○複数の中学校でしたいこととその理由を書き写す。	○中学校でしたいこととその理由を伝える英語表現の選択・組合せをし、書き写せるように、既習の英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意する。	◇英語表現の選択・組合せをし、中学校でしたいこととその理由を書き写している。  <学習プリント②>
	1	○3学期リスニングテストを行う。		
	1	○3学期スピーキングテストを行う。		
【備考】 ・「キーワードゲーム」：「1. 友達についての"True Or False"クイズ大会をしよう」【備考】欄参照。 ・「メモリーチェーンゲーム」：「6. 自分の生活や宝物を伝えよう」【備考】欄参照。				